

先生各位

検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび下記検査項目につきまして検査受託中止をご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

- 受託中止日 2022年11月30日（水）受付分より
- 受託中止項目

案内書掲載頁	項目コード	項目名	代替項目	中止理由
122	2162	17-ケトステロイド分画 (17-KS7分画)	なし	測定試薬の販売中止
未掲載	3518	アルド／レニン活性比（換算）	3585： アルドステロン／レニン活性比	備考参照
	3519	アルド／レニン濃度比（換算）	3586： アルドステロン／レニン濃度比	

<備考>

「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」において、アルドステロン値はCLEIA法を用いて判定することが推奨されています。そのため、アルドステロン値をRIA相当値に換算してアルドステロン／レニン比を算出する対象項目を中止させていただきます。

● 代替項目

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
130	3585	アルドステロン/ レニン活性比	血漿 1.2	13	(分離後) 凍結 (14日)	4~6	125+100 (生Ⅱ)	アルドステロン:CLEIA法 レニン活性:EIA法	裏面参照
	3586	アルドステロン/ レニン濃度比	血漿 1.0	13	(分離後) 凍結 (21日)	3~5	125+105 (生Ⅱ)	CLEIA法	

<留意事項>

- ・採血条件は早朝空腹時の安静臥位後が望ましいが、スクリーニングでは随時座位で行って良い、とされています。
- ・冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。

裏面に続く

アルドステロン/レニン活性比（基準値）

アルドステロン [CLEIA]	4.0～82.1 (pg/mL)
レニン活性(PRA) [EIA]	臥位 0.2～2.3 座位 0.2～3.9 立位 0.2～4.1 (ng/mL/hr)
アルドステロン/レニン活性比	100未満

※陽性判定は、活性比 ≥ 200 かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLです。ただし、「ARR境界域」の活性比100～200未満かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。
※暫定的に陽性の場合、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の可否を個別に検討する、とされています。

アルドステロン/レニン濃度比（基準値）

アルドステロン [CLEIA]	4.0～82.1 (pg/mL)
レニン濃度(ARC) [CLEIA]	2.21～39.50 (pg/mL)
アルドステロン/レニン濃度比	20未満

※陽性判定は、濃度比 ≥ 40 かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLです。ただし、「ARR境界域」の濃度比20～40未満かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。
※暫定的に陽性の場合、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の可否を個別に検討する、とされています。